

平成 27 年度大阪管区気象台近畿地区気象研究会
2015 年度日本気象学会関西支部第 3 回例会

プログラム

開催日時：平成 27 年 12 月 21 日(月)～22 日(火)

(一日目) 14 時 30 分～17 時 45 分、(二日目) 09 時 50 分～17 時 40 分

開催場所：大阪合同庁舎第4号館 16 階大会議室
(大阪市中央区大手前 4-1-76)

14:30 開会 司会：天満 仁 大阪管区気象台防災調査課長
14:30～14:35 開会挨拶 真木 敏郎 大阪管区気象台気象防災部次長

【大阪管区気象台近畿地区気象研究会発表 一日目】

14:35～14:40 説明事項 大阪管区気象台防災調査課調査官 能瀬
発表 1 題 25 分(発表 20 分+質疑 5 分)、*は発表者

座長：野澤 武志 大阪管区気象台観測課長

14:40～15:05 (1) 比良おろし発生時の環境場について

朝原信長、坂元賢治**、瀬川知則*、山本博之*、加藤眞司*、
竹下誠*(彦根地方気象台)、**大阪管区気象台)

15:05～15:30 (2) 2015 年 9 月 1 日の日本海低気圧に伴い発生した線状降水帯の発生要因
について

*秋山佳明、籾内保昭、近澤文則、若狭剛史、川村俊博、平山篤志、
河野真也(京都地方気象台)

15:30～15:55 (3) 過去の知見や新しい技術を活用した予報技術の検討

*田邊秀樹、片山保、東直樹、熊谷達也、井上真之、上田学
(神戸地方気象台)

15:55～16:20 (4) 下層南西風での暖湿気流入時に、奈良県北部で 1 時間雨量の多少を決
定付ける要因の検討

*井立田真吾、北野昌寛、森本徹也(奈良地方気象台)

16:20～16:30 休憩

座長：川上 徹人 大阪管区気象台地震火山課長

16:30～16:55 (5) 2012 年 11 月 11 日に発生した和歌山県南部の大雨について

*石川雅章、澤田充延、坂本徹重、田中裕吉、松本匡史
(和歌山地方気象台)

16:55～17:20 (6) 2013 年 7 月 3 日の強風事例調査

*小山芳太、工藤祥太、大前貴史、武部悦次(関西航空地方気象台)

17:20～17:45 (7) 沿岸・内海域の表層水温・海流の図情報の作成に向けた検証

*有吉正幸、坂元賢治(大阪管区気象台)

【大阪管区気象台近畿地区気象研究会発表 二日目】

09:50～09:55 説明事項 大阪管区気象台防災調査課調査係長 溝本
発表 1題 25分(発表 20分+質疑 5分)、*は発表者
座長：高橋 宙 大阪管区気象台地球環境・海洋課長

09:55～10:20 (8) 平成27年9月4日の南あわじ市で発生した突風について
*宍村良樹、神野正樹、熊谷達也、片山保(神戸地方気象台)

10:20～10:45 (9) 台風接近時における「かつらぎ」での強風について
*上枝よしの、瀧本絵里香、吉田康夫、鈴江浩成(和歌山地方気象台)

10:45～11:10 (10) 関西国際空港における南よりの強風について(ドップラーレーダー・ライ
ダーを利用した短時間予測への活用)
下田和宏、*中平晃央、新道義孝(関西航空地方気象台)

11:10～11:35 (11) 大阪府で発生した線状降水帯による大雨
*打越充、亀田秀夫、福原正明、山本陽子(大阪管区気象台)

11:35～11:50 講評 松村 崇行 大阪管区気象台気象防災部長

【2015年度日本気象学会関西支部第3回例会】

13:00～13:05 例会開会挨拶 上垣内 修 日本気象学会関西支部長

13:05～13:10 説明事項 日本気象学会関西支部幹事 関野
一般講演 1題 20分(発表 15分+質疑 5分)、*は発表者

セッション1(13:10～14:30) 座長：山下 寛(大阪管区気象台気象防災部予報課)

(1) 防災授業の理解度及び教員に対するアンケートからの考察
*栗山 佳之、山西 大輔、鎌倉 和夫(大阪管区気象台気象防災部予報課)

(2) 「命を守る」気象情報を目指して 一気象解説者の立場から見た課題の考察と改善策の
提案ー
*片平 敦(株式会社ウェザーマップ)

(3) 隣接面過程が雪の結晶成長に果たす役割
*山下 晃(大阪教育大学)

(4) 夜空の“先”を見通せ！～夜空の明るさの予測と光害の再現～
*一見 晴、*岡田 友輔、*高田 彩加、榎原 颯輝、芝脇 翔山、小森 大暉、松枝
蒼弥、岡田 小夏、薮内 智史、前田 祐作(奈良県立奈良高等学校)

14:30～14:35 学校紹介 前田 祐作(奈良県立奈良高等学校)

14:35～14:45 休憩

セッション2(14:45～16:05) 座長：向川 均(京都大学防災研究所)

(5) 平年日降水量時系列のクラスター分析による近畿地方の地域区分 ー近畿の気象予報
区域との比較ー
*草薙 浩(京都ウェザーリサーチ会)

(6) 日本沿岸とドイツ沿岸の洋上観測値を用いたWRF計算風速の精度比較

*岡山 芙有子、大澤 輝夫(神戸大学大学院海事科学研究科)、

Martin Doerenkaemper、Gerald Steinfeld、Detlev Heinemann (ForWind – Center for Wind Energy Research)

(7) GSMPデータを用いた梅雨期東シナ海上における降水の解析

*堀田 祥(福岡大学理学研究科)、西 憲敬(福岡大学理学部)

(8) 2014年の北大阪周辺での線状降水系による大雨について

*片岡 彩、三宅 里香、佐藤 兼太郎、中嶋 哲二(大阪管区気象台気象防災部予報課)

16:05～16:15 休憩

セッション3(16:15～17:35) 座長：大澤 輝夫(神戸大学大学院海事科学研究科)

(9) 日々の高低気圧の出現状況でみたヨーロッパにおける冬から春への季節遷移 一東アジアとの比較の視点で—

*濱木 達也、加藤 内藏進(岡山大学大学院教育学研究科)

(10) 日本の盛夏期の降水と大気場に関する総観気候学的解析

*梶田 知恭(岡山大学教育学部)、松本 健吾(岡山大学大学院教育学研究科)、
大谷 和男(岡山大学大学院自然科学研究科)、加藤 内藏進(岡山大学大学院教育学研究科)

(11) 1970年代以降の冬型気圧配置の特徴に関する解析(初冬と真冬の違いも意識して)

*山口 拓朗、友岡 希(岡山大学教育学部)、濱木 達也、加藤 内藏進(岡山大学大学院教育学研究科)

(12) 秋が深まる頃の台風による日本付近での広域降水の特徴 ～2013年台風26号を例に～

*小嶋 ゆう実(岡山大学教育学部)、松本 健吾(岡山大学大学院教育学研究科)、
大谷 和男(岡山大学大学院自然科学研究科)、加藤 内藏進(岡山大学大学院教育学研究科)

17:35～17:40 例会閉会挨拶

天満 仁 日本気象学会関西支部常任理事

17:40 閉会